



pixta.jp - 5798480



pixta.jp - 11034872



2023年度(第50期) (2023年6月～2024年5月) 環境経営レポート



pixta.jp - 6467484



pixta.jp - 2776122

2024年6月30日

ネオスグループ
二村自動車株式会社
広島クライスラー株式会社

環境経営方針

【基本理念】

私たち、NEOSグループは、「共に満足、共に幸せ」を経営理念とし、その経営理念に基づき、全ての事業活動を行ってゆきます。この経営理念の下、私たち、NEOSグループは、自動車販売・自動車整備など全ての事業活動において、自然との調和を図りながら、地球環境の保護と豊かな社会づくりに貢献します。

自動車販売においては、エコカーの積極的な販売やエコ仕様用品の普及に、積極的に取り組むとともに、自動車整備においては、リサイクル部品の積極的な活用することで、環境負荷の低減を図り、環境社会への貢献を果たして行く活動を、事業活動のあらゆる場面において、実践してまいります。

【行動指針】

1. 環境に関連する法規制を、誠実に遵守致します。
2. 限りある資源を大切にするため、省資源・省エネルギーに努めます。
3. 使用済み自動車の適正処理、リサイクルを推進致します。
4. 循環型社会に向けて、廃棄物の削減・再利用・再生利用活動を推進致します。
5. 環境改善項目を定め、継続的な改善活動を実践致します。
6. 全従業員にこの環境経営方針を周知徹底するとともに、環境経営レポートを作成し、公表致します。

【経営における課題とチャンス】

環境に配慮した持続可能な低炭素社会の実現に貢献します。

平成27年6月1日 制定
2021年1月1日 改定

ネオスグループ

二村自動車株式会社

代表取締役 二村 一弘

組織の概要

1. 事業者の概要

(1) 事業者名及び代表者

事業者名: 二村自動車

(構成会社: 二村自動車株式会社・広島クライスラー株式会社)

代表者: 二村自動車株式会社 代表取締役社長 二 村 一 弘

(2) 対象範囲(認証・登録範囲)

1) 対象事業所: 第2項のとおり。

2) 活動: 新車・中古車販売、自動車整備・修理、自動車钣金・塗装、
デント修理、保険代理店業

(3) 事業の規模

従業員数

101 (2023.6月～2024.5月)

(従業員はすべて、二村自動車の社員であり、グループ各社へ在籍出向している。)

年間売上高

27.5億円 (2023.6月～2024.5月)

年間新車販売台数

539台 (2023.6月～2024.5月)

年間整備入庫台数

30,785台 (2023.6月～2024.5月)

(4) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 二村自動車株式会社 代表取締役 二 村 一 弘

EA21環境推進事務局 二村自動車株式会社 執行役員 二 村 貴 久

ジープ広島 副店長 執行役員 山 平 浩 二

TEL: 082-878-8300

実施体制(役割・責任・権限)

環境統括責任者	環境マネジメントシステム(以下EMS)に関する統括責任者 ・EMSの実施及び運用に必要な人・設備・費用・時間を用意 ・環境管理責任者の任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標の設定と承認 ・代表者による全体評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	業務上の責任者として、全体の環境取り組みを推進する ※ 代表者は、環境活動の実績に關して全部門に対する 指揮命令権限を委譲 ・EMSの構築、実施、管理 ・環境活動計画書、環境開示法令取りまとめ等の承認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの承認
EA21推進事務局	環境管理責任者をサポートし、EA21推進事務局として 全社の環境取組を推進する ・環境取り組みの指導・支援 ・環境データの集計・取りまとめ
〈副店長〉 山 平 浩 二	全社の環境取り組みを推進する ・担当部門の環境取り組みの責任者
店舗環境管理 責任者	・店長 : 店舗の環境取り組み全体の責任者として 店舗環境取組の推進・管理 ・副店長 : MEGA21を中心にサービス領域の環境 取組に責任を持つとともに店舗全体の 環境取組において店長をサポートする。

2. 対象事業所

(1) 二村自動車株式会社(事業活動: 第1項(2)と同じ)

本社: 広島市安佐南区長楽寺二丁目6-18

オートショップネオス西風新都店: 広島市安佐南区大塚西四丁目4-13

マツダオートザム安古市: 広島市安佐南区大町東三丁目16-11

スズキアリーナ沼田: 広島市安佐南区長楽寺二丁目6-18

オートショップネオス安東店: 広島市安佐南区安東二丁目15-18

アット钣金倶楽部ネオス緑井: 広島市安佐南区緑井一丁目10-13

デントマスターズ広島: 広島市安佐南区安東二丁目15-18

スズキアリーナ五日市: 広島市佐伯区千同二丁目1-9

芸備自動車: 広島市安佐北区口田四丁目4-9

志和工場(中神自動車工業内): 東広島市志和町七条花坂933-1

(2) 広島クライスラー株式会社(事業活動: 新車・中古車販売、自動車整備・修理、保険代理店業)

本社: 広島市安佐南区長楽寺二丁目6-18

ジープ広島: 広島市安佐南区緑井六丁目20-6

【Ⅰ】 50期の主な会社事業の変革

2023年6月12日	コロナで開催できなかった50周年イベントを実施する
2023年10月1日	MWJワランティを使用して車販時・車検時の延長保証の取扱いをスタートする
2023年12月1日	マツダオートザム安古市をメーカー基準でリニューアルオープンする
2024年3月11日	健康優良法人2024(大規模法人部門)に継続して認定される 4年連続、社員さんの健康サポートに対する取り組み継続で認定を受ける

【Ⅱ】 省エネへの取り組み

① エコカーライフ第27号の発行

* 7,000部作成して、お客様に無料配布。

第24号情報

第27号表紙



第27号情報
自社の取組紹介



② 店舗の清掃・省エネの徹底

* 一部の工場に取り入れていたLED照明を全工場に取り入れ、明るさも含めて省エネに努めている。

またエアコンの温度設定の見える化や室外機の日除けなど小さなことを各店舗で行うことで省エネ

や経費削減に繋がっている。

③ 車のメンテナンスで重要な商品の1つであるメンテナンスパックを時代の変化に合わせて項目や金額設定を見直した。

定期的に交換をした方が良い商品をメンテナンスパックに追加することで低燃費への貢献で合ったり故障防止の促進でメンテナンスフリーとなり環境保全になるように努めている。

2024年6月7日

承認	作成
二村一弘	二村貴久

環境経営目標設定

項目	単位	2019年度 (基準値)	目標		
			2024年度	2025年度	2026年度
電気使用量の削減	kwh	459,020	449,840	449,840	445,249
			△2%	△2%	△3%
化石燃料使用量の削減 (ガソリン+軽油)	L	75,042	69,039	69,039	69,039
			△8%	△8%	△8%
一般廃棄物排出量 の削減	kg	28,074	27,513	27,513	27,232
			△2%	△2%	△3%
水使用量の削減	m³	4,065	3,984	3,984	3,943
			△2%	△2%	△3%
メンテナンスパック獲得	件	—	1,200	1,200	1,200
販売台数の前年超え	—	—	+5%	+5%	+5%
エコ仕様用品品揃え の増大	—	—	エコタイヤ、エコオイル、エコバッテリー等 のエコ用品を揃え、お客様へ提案する。		
リサイクル・リビルド部品の 販売向上	—	—	468	468	480
グリーン購入の推進	—	—	グリーン購 入の推進	グリーン購 入の推進	グリーン購 入の推進
地域社会への貢献	—	—	店舗周辺の 清掃活動	店舗周辺の 清掃活動	店舗周辺の 清掃活動

- (注1) 産業廃棄物のほとんどが再資源化されており、削減に馴染まない為削減目標は設定せず、分別保管と適性処理を基本として取り組むこととする。
- (注2) 化学物質(塗料、シンナー)は、使用量が少ないことから削減目標は設定せず、適正に管理していることを定期的に確認することとする。
- (注3) 店舗が増えたことによる各使用料・排出量の増加予想されたが、2019年度基準のまま目標設定する

環境経営計画(取組に必要な手順)

1. 電気使用量の削減

- 電気メーターの確認
- メジャーサインの点灯・消灯設定の確認
- 不要な照明の消灯確認
- エアコン温度設定の確認(事務所・ショールーム)
- エアコンフィルターの定期的清掃
- エアコンプレッサーの退社時OFFの徹底

2. 化石燃料使用量の削減

- エコドライブの啓発
- アイドリングストップの徹底
- タイヤの空気圧・不要な荷物チェック
- 代車の満タン貸出、満タン返しの励行
- オンラインの活用で移動の削減

3. 一般廃棄物排出量の削減

- 紙使用量の削減(ペーパーレスの推進)
- 〃(両面、集約、縮小、裏紙コピーの徹底)
- 一般廃棄物の削減

4. 水使用量の削減

- 水道メーターの確認・記録
- 節水の掲示を各蛇口に貼る
- 洗車用ホースにストップノズルをつける

5. メンテナンスパック獲得

- メンテナンスパック契約を車販時・整備入庫時に見積りに入れて提案する

6. エコカー販売比率の向上

- 今後、新型車がエコカーに代わって行くので、新車販売比率の向上を推進する

7. エコ仕様用品の品揃えの増大

- 今後、エコ仕様用品の品揃えを増やし、お客様への販売を強化する

8. リサイクル・リビルド部品の販売向上

- 今後、リサイクル部品・リビルド部品の販売の強化のため、社内への周知徹底と共に見積書へ記載して、お客様への提案を強化する

9. グリーン購入の推進

- できるだけエコマーク付き商品を購入するよう心掛ける

10. 地域社会への貢献

- 店舗周辺の清掃活動を営業日は毎朝実施する

環境経営目標の実績

1. 2023年6月-2024年5月期間の実績

項目	単位	環境経営目標	実績	目標達成率*1	評価*2
電力使用量の削減	kwh	449,840	370,847	82.4	○
化石燃料使用量の削減	L	69,789	58,996	84.5	○
水使用量の削減	m³	3,780	3,817	101.0	△
一般廃棄物排出量の削減	kg	26,109	30,173	115.6	×
メンテナンスパック獲得	件	1,320	854	64.7	×
上記のほか、数値目標は設定していないが、「エコカー販売比率の向上」、「エコ仕様用品・品揃えの向上」、「リサイクル・リビルド部品の販売向上」、「グリーン購入」に取り組んだ。					

*1.目標達成率＝実績値÷目標値×100

*2.評価基準／削減項目：目標達成率100未満○、100以上～110未満△、110以上×
拡大項目：目標達成率100以上○、90以上～100未満△、90未満×

2. 二酸化炭素排出量の推移

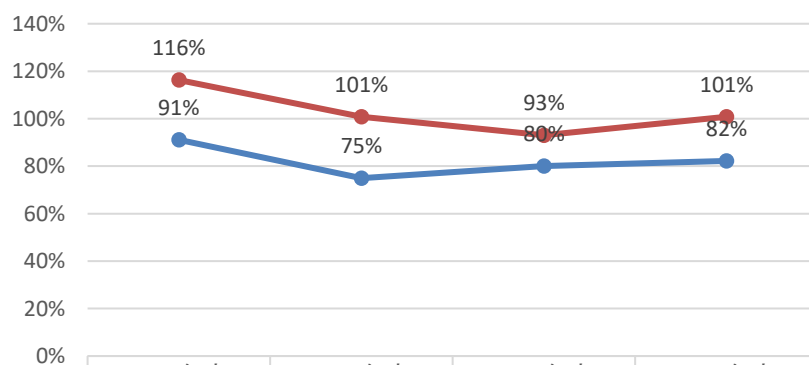
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	t-CO2	389	320	342	351
		91%	75%	80%	82%
売上額当たりの二酸化炭素排出量	t-CO2/百万円	0.15	0.13	0.12	0.13
		116%	101%	93%	101%

電力の二酸化炭素排出係数は、中国電力の2021年度の排出係数0.545kg-CO2/kwhを使用した。

※＜基準値＞二酸化炭素排出量：427t-CO2

売上額当たりの二酸化炭素排出量：0.129t-co2/百万円

二酸化炭素排出量の推移



環境経営計画の取組結果・評価、次年度の取組内容

1)電力使用量の削減

- ・電気使用量は目標を達成することができた。
- ・店舗が増加して増加予想をしていたが、全工場のライトLED化や節電等の見える化で改善できた。

2)化石燃料使用量の削減

- ・ 目標は達成できたが、連続で前年より使用量が増加した。
- ・ 今年度はオンライン予約を導入したので、次年度は利用者を増やし来店予約を増加させることで、移動の削減に繋げて目標を達成させる。

3)水使用量の削減

- ・ 水使用量は目標まであと少しで達成できた。
- ・ 大型店舗の改装工事により水道を使用できない期間があり水使用量が減少した。
- ・ 次年度は節水の呼びかけを見える化して目標を達成させる。

4)一般廃棄物排出量の削減

- ・ 目標は達成できなかったが、前年より排出量が減少した。
- ・ 次年度はDX化の推進でペーパーレスを加速させて目標を達成させる。

5)メンテナンスパック獲得

- ・ 販売台数・整備入庫台数が前年を割り大幅に落ち込み達成できなかった。
- ・ 次年度は目標の見直しと見積り時に内容・金額を入力して提案・獲得を強化する。

6)エコカー販売比率の向上

- ・ 中古車のエコカー販売も上昇しており、販売台数の増加を課題として取り組む。
新車のエコカーのラインナップ充実により試乗や見積り件数を増やし販売促進につなげる

7)エコ仕様用品の品揃えの増大

- ・ キャンペーンでの前倒しの準備でエコ仕様用品の見える化ができ販売に繋がった。
- ・ 重点用品の見直しや設定を前倒しで準備してキャンペーンなどスタート時には提案できるようにする

8)リサイクル・リビルド部品の販売向上

- ・ 物価の高騰によりリサイクルが注目されて利用が増えた
- ・ 新品部品とリサイクル・リビルド部品との差を説明・提案して販売に繋げる。

9)グリーン購入の推進

- ・ 同一のグリーン商品をグループ全体で購入することで管理項目の削減・時間削減に繋がった。
- ・ 次年度は同一のグリーン商品の品目を増やして購入し管理項目や時間を削減する

10)地域社会への貢献

- ・ 全店舗にて店舗周辺の清掃活動を営業日には継続して毎朝実施する。



西風新都店で
の感謝祭 エコ
商品提案



安古市の感謝祭
でエコタイヤ販売



五日市の感謝祭での
子供向けイベント



沼田の感謝
祭でエコバッ
テリー販売



ジープの
感謝祭に
てEV車提



芸備の感謝祭で
はイベントカーで
おもてなし

主な環境関連法規への違反・訴訟の有無

1. 環境関連法規

環境関連法規	要求事項	評価
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理	○
自動車リサイクル法	・使用済自動車の適正処理	○
PRTR法	・特定化学物質の排出量/移動量の把握 ※第1種指定化学物質の年間取扱量1t以上の事業所は、 届出対象 *トルエン、キシレン(アット鋳金・中神自動車)	対象外
水質汚濁防止法	・特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設)	○
下水道法	・特定施設の届出 (自動式車両洗浄施設)	○
浄化槽法	・浄化槽設置の届出 ・保守点検・清掃・定期検査	○
騒音規制法	・特定施設の届出 (コンプレッサー)	○
広島県条例	・騒音関係特定施設の届出 (コンプレッサー、金属研磨機)	○
振動規制法	・特定施設の届出 (コンプレッサー)	○
消防法	・少量危険物(貯蔵所・取扱所)の届出	○
フロン排出抑制法	・空調機の3ヶ月に1回の簡易点検	○

2. 違反・訴訟の有無

環境関連法規の違反はなく、関係機関からの指摘や指導も受けておりません。
また、同様に訴訟等についても、1件も発生しておりません。

代表者による全体の評価見直し、結果

評価: グループに新たな店舗が仲間入りした中で主要の電力・化石燃料の目標を達成したことは
全社員の協力なくしては出せない結果であり評価できる。

見直し: 基準年度を据え置きでも目標を達成している項目もあるが、店舗増加による影響は
今後も出るので、改善策の見直しや具体策を策定して取り組む。

結果: 50期は、店舗増加にもかかわらず基準年度を据え置きで取り組み、達成項目を出せたことは
評価できるが、実績は、今一步と評価する。51期は、全項目の達成を目指す。